

～千葉県における不審者情報の分析結果～



令和5年中に寄せられた、13歳未満の子供を対象とした不審者情報約1,100件の分析結果を千葉県警が公表しています。

保護者、学校関係者、自主防犯活動に従事されている方々に止まらず、広く市民の皆様には、「地域の子供は地域で守る」との意識をお持ちいただき、この分析結果を参考として、子供たちの見守りをお願いします。

【行為別】「声かけ」が4割を占める。

行為別では「声かけ」が、全体の40.8%で飛び抜けて多く、他は、子供の容姿等を撮影する「盗撮」が14.5%、「つきまとい」が11.9%、「露出」が11.0%と、比較的高い割合で発生しています。



【被害者の年齢別】小学生時期から被害が増える。

小学生になると、子供だけで行動することが多くなることから、被害も増えます。小学生は、抵抗力が弱く、危機回避能力が身につけていないため、大人による見守りが望まれます。

年 齢	割 合	年 齢	割 合
1～5歳	2.1%	6歳	6.2%
7歳	9.9%	8歳	15.3%
9歳	15.9%	10歳	16.8%
11歳	14.6%	12歳	14.3%

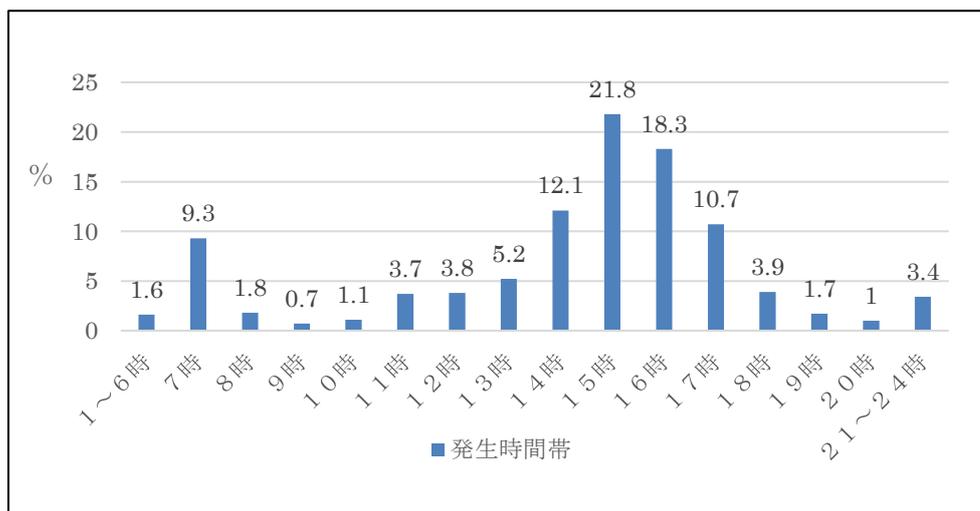
【被害者の人数別】一人でいるときに多く発生する。

被害に遭った子供の66.0%は、一人でいるときに不審者に遭遇しており、登下校や公園等で遊ぶときなどは、複数で行動させるよう心がけてください。



【発生時間帯別】登下校の時間帯に被害が集中している。

被害は、登校時間帯である7時台、下校時間帯である14時から17時台に集中しています。同時時間帯での発生は、全体の72.2%を占めており、登下校時の見守り活動は、被害防止に高い効果が期待できます。



【被害時の態様別】登下校、帰宅時の被害が約6割を占める。

下校時、塾帰り、遊んだ帰り等を含めた「帰宅時」の被害が43.8%で一番多く、次いで「遊び中」21.9%、「通学時」14.8%と続いています。

「帰宅時」と「通学時」の被害を合わせると全体の58.6%であり、子供たちが道路上を移動するという日常の行動の中で被害が発生しており、どの子供も等しく被害に遭う可能性があると言えます。

もばら安全・安心メールサービス

茂原市では、スマートフォン等を通じて利用できる「もばら安全・安心メールサービス」により、令和5年中、24件の不審者情報を発信いたしました。利用登録をして、御自身、御家族の安全・安心に資する情報入手のために御活用ください。



左記 QR コードまたは

<https://www.city.mobara.chiba.jp/0000000943.html>

を参照して利用登録をお願いします。

〈連絡先〉

茂原市役所 市民部 生活課

TEL 0475-20-1505 (月～金 8:30～17:15)